

東京

春  
秋

\* 163

1万匹以上捕獲されていたブルーギルがゼロに――。先日、井の頭公園（武蔵野市、三鷹市）の井の頭池で実施されていた都のかいぼり事業の報告会を取材すると、驚きの結果が明らかにされました。井の頭池では外来種駆除や水質改善を目的に2013、15、17年度の計3回、水を抜いて池底を天日干しするかいぼりが行われました。報告を行った認定NPO法人「生態工房」によると、1回目に捕

## 井の頭池 外来種を駆除

獲された生き物の8割強が外来種。繁殖力が強い北米原産の外来魚ブルーギルが1万2712匹と、全体の6割を占めていました。

ただ2回目、3回目と数を減らし、昨年4月以降は、5

か所の定置網で1匹も捕獲されていません。「繁殖期後の8月下旬までに捕獲されなければ、根絶したということでしょう」。同法人の佐藤方博さん(45)はこう分析し、ほっとした表情を見せました。

佐藤さんによると、池の外来魚が増えてきたのは1990年代。人々の関心を高めようとする市民団体が「釣りイベント」を開催し、1匹ずつ駆除したこともあったそうです。

佐藤さんらは2008年以

降、都と連携しながら「電気ショックカー」を池に入れ、水面に浮いた外来魚をすくう方法などを試しましたが、効果は限定的でした。「根本的な駆除には、かいぼりしかなかった」と振り返ります。

池は今、水草の豊富な環境を好むヌカエビなどの在来種が9割超を占め、それを餌とする水鳥が飛来するなど昔の生態系が戻りつつあります。長かった外来種との闘いは終盤。佐藤さんたちの活動を最後まで応援したいです。



樋口絢香 30歳